

平成 17 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 8 月 6 日

上場会社名 株式会社イーエムシステムズ

（コード番号：4820 東証第二部）

（URL <http://www.emsystems.co.jp>）

代表者 役職・氏名 代表取締役社長 國光 浩三

問合せ先責任者 役職・氏名 執行役員管理部長 宮城 孝誓

（TEL：(06) 6397 - 1888）

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度：無
 における認識の方法との相違の有無

2. 平成 17 年 3 月期第 1 四半期業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 6 月 30 日）

（1）売上高

	（百万円未満切捨）	
	百万円	%
17 年 3 月期第 1 四半期	1,681	(4.5)
16 年 3 月期第 1 四半期	1,761	(6.9)
（参考）16 年 3 月期	7,827	(4.8)

（注）売上高は、当該四半期までの累計値であります。

パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。

〔製品分類別売上高〕

		平成 16 年 3 月期 第 1 四半期		平成 17 年 3 月期 第 1 四半期	
		金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）
調剤薬局向けシステム事業及びその 関連事業	調剤システム	1,027	58.3	982	58.4
	医科システム	61	3.5	41	2.5
	ネットワークシステム	12	0.7	31	1.9
	サプライ	242	13.8	161	9.6
	保守サービス	32	1.8	39	2.3
	計	1,375	78.1	1,256	74.7
	調剤薬局事業	386	21.9	424	25.3
	合計	1,761	100.0	1,681	100.0

〔売上高に関する補足説明〕

当該四半期につきましては、平成 16 年 4 月の医療制度改正による薬価差益の減少が、調剤薬局の設備投資意欲を減少させる要因のひとつとなっております。しかし、医薬分業率は全国平均で 50% を超え、医薬分業は着実に進んでおります。その状況下で、調剤薬局のさらなる経営の合理化、効率化への要望は高まっており、調剤薬局業務全体を支援する一方で、ユーザーニーズに応じたシステムが求められております。

この結果、当四半期の業績は、売上高 1,681 百万円となりました。

（調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業）

医療制度改正により、調剤薬局の経営状況が厳しくなり設備投資意欲が減少する中、当社は、昨年度リリースしました新製品「Recepty」、ネットワークシステム事業における ASP の「NET Recepty」、薬局間情報共有システム「NET - 」並びに携帯型医薬・患者情報閲覧システム「Mobility」を中心に拡販してまいりました。特にネットワークシステム事業につきましては、注目度が高く、順調に売上げが増加しております。また、オプションシステムとして薬袋発行プリンタ「Yakty BM-3」やお薬手帳・薬品情報プログラム「プリントぷらす」をリリースしてまいりました。

しかしながら、「Recepty」の機能の一部、主に在庫管理機能において、よりユーザーニーズに対応するため、プログラムの調整が必要となり、在庫管理機能を活用するユーザーが買い控えをしたことが、売上高の減少につながっております。また、小規模薬局向けのシステムは、ASP の「NET Recepty」を販売する方針により、販売単価が下がっていることも、売上高減少の要因のひとつにもなっております。

また、前中間期より改正ソフトの売上をサプライ売上高から調剤システム売上高に計上を変更しております。

この結果、売上高 1,256 百万円となりました。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業につきましては、堅調に推移しております。この主な要因といたしましては、大規模病院の門前薬局である梅田北薬局が、競合の厳しい中、立地、薬剤師のレベル、漢方薬局併設など複合サービス及びその高度化が患者に高く評価され、昨年度から引き続き来局患者数の増加を促し、処方箋枚数のさらなる増加につながっております。

この結果、売上高 424 百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成 17 年 3 月期の連結業績予想 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	4,145	321	157	22 98
通期	8,906	952	463	65 5

[業績予想に関する定性的情報等]

調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業は、新製品「Recepty」の機能拡充を図ることにより、拡販してまいります。加えて、ネットワークシステム事業における大型商談やネットワークシステムを様々な商談に加えることにより、競合他社との差別化を図ってまいります。

また、品質やサポートスタッフの強化を図ることによりアフターサービス費用の削減を初めとする販売費及び一般管理費の効率的運用を推進してまいります。さらに 7 月には業務提携を発表、さらなる提携を模索し、新たなサービスの提供を検討してまいります。

調剤薬局事業につきましては順調に推移しており、第 2 四半期において 2 店舗の新規出店を期初計画どおり予定しております。

以上のことから業績予想につきましては、当初予想に修正はありません。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上

平成 17 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況（個別）

平成 16 年 8 月 6 日

上場会社名 株式会社イーエムシステムズ

（コード番号：4820 東証第二部）

（URL <http://www.emsystems.co.jp>）

代表者 役職・氏名 代表取締役社長 國光 浩三

問合せ先責任者 役職・氏名 執行役員管理部長 宮城 孝誓

（TEL：(06) 6397 - 1888）

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度：無
 における認識の方法との相違の有無

2. 平成 17 年 3 月期第 1 四半期業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 6 月 30 日）

（1）売上高

	（百万円未満切捨）	
	百万円	%
17 年 3 月期第 1 四半期	1,264	（ 8.3 ）
16 年 3 月期第 1 四半期	1,378	（ 2.6 ）
（参考）16 年 3 月期	6,218	（ 1.9 ）

（注）売上高は、当該四半期までの累計値であります。

パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。

〔売上高に関する補足説明〕

当該四半期につきましては、第 1 四半期業績の概況（連結）の〔売上高に関する補足説明〕（調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業）に記載のとおりでありますので、個別での記載を省略しております。

（2）当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成 17 年 3 月期の業績予想（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1 株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	3,316	296	142	20 78
通期	7,096	871	418	58 57

〔業績予想に関する定性的情報等〕

調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業は、新製品「Recepty」の機能拡充を図ることにより、拡販してまいります。加えて、ネットワークシステム事業における大型商談やネットワークシステムを様々な商談に加えることにより、競合他社との差別化を図ってまいります。

また、品質やサポートスタッフの強化を図ることによりアフターサービス費用の削減を初めとする販売費及び一般管理費の効率的運用を推進してまいります。さらに 7 月には業務提携を発表、さらなる提携を模索し、新たなサービスの提供を検討してまいります。

以上のことから業績予想につきましては、当初予想に修正はありません。

（注）業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上